

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和4年8月9日（火）16：00～18：00
3. 場所：原子力エネルギー協議会会議室（経団連会館13階）
4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 金城課長、藤森調査官、齋藤課長補佐、  
片桐専門職、佐藤係長

原子力エネルギー協議会（A T E N A） 事務局長、他4名  
東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 燃料管理グループ マネージャー、他1名  
関西電力株式会社

原子力事業本部 原子燃料部門 燃料技術グループ マネージャー、他3名  
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構（J A E A）

原子力科学研究部門 原子力基礎工学研究センター 副センター長、他1名

5. 要旨：

- A T E N Aから、燃料高度化の促進（BWR 10×10 燃料、事故耐性燃料の導入に向けた検討状況）と柔軟な運転サイクル導入のための取組みについて説明を受けた。
- 原子力規制庁から、BWR 10×10 燃料導入の必要性、事故耐性燃料の特徴や導入に向けて事業者側が考えているスケジュール感等を確認した。また、柔軟な運転サイクル導入について、どのように進めるのが適当か検討する旨を伝えた。

6. 配付資料：

- 資料1： NRA-ATENA 定例面談資料
- 資料2： 事故耐性燃料への対応について
- 資料3： 我が国における ATF 開発のこれまでの経緯と現状

※面談においては、令和4年5月30日の面談資料「BWR10×10 燃料導入の進め方について」も用いた。当該面談資料については、以下の原子力規制委員会ホームページを御参照下さい。

BWR10×10 燃料導入の進め方について  
<https://www2.nra.go.jp/data/000392661.pdf>

以上